

恵那市

NPO法人福寿の里自然倶楽部

# エコツーリズム促進事業

## まちに元気を取り戻す

「少子高齢化、過疎化の進む上矢作を元気にしたい」という思いを抱き、エコツーリズムに取り組みグループがある。

NPO法人福寿の里自然倶楽部(くらぶ)は恵那市上矢作町。町内の約10ヘクタールの原生林「アライダシ自然観察教育林」を案内して、豊かな緑を体感してもらっている。

同倶楽部は2011年4月に設立された。県の「清流の国ぎふ森林・環境税」などを活用し、多様なツアーを催す。

### 年々進む過疎化

事務局長の横光八州男さん(67)は幼少期を大分県宇佐市で過ごした。愛知県内の大学を卒業後、中学校の社会科教員として働く。初任地は上矢作町立上中学校(現恵那市立上矢作中学校)。町内の環境が横光さんにふるさとを思い起こさせた。「上矢作がこよなく好きになった」。定年退職後には恵那市観光協会上矢作支部の事務局長を務めていたが、まちが年々、元気を失っている気がしてならな

かった。実際に同町の人口は約2200人で、20年ほど前から約1千人減った。

「自然だけではどこにも負けない」横光さんののが自慢。町内で生まれ育った同倶楽部理事長の渡会三治さん(67)は住民と立ち上げた。

### 原生林を散策

恵那山地の一端に位置するアライダシ自然観察教育林で、年に10回ほどのエコツーリズムを開催する。冬季は道が凍結するため、開催期間は5月から11月(8月は休み)。倶楽

部の会員がネイチャーガイドを務め、約6時間をかけてトレッキングする。ブナやイヌシデ、カナクキノキ、モミなどの樹木が育ち、草花も茂る。異なる樹木が根元や幹の途中で一つになる共生木や、切り株や倒木の上に樹木が成長し、その樹木の根が地上に現れ

たままになる根上がり木なども観察できる。四季で表情を変える原生林は足を運ぶたびに発見があり「地元住民でも(アライダシ自然観察教育林を)知らない方が多く、皆さん驚いて帰られます」と横光さん。ツアーは「詳しく、

丁寧なガイド」と参加者の評判は高く、リピーターも増えている。

樹齢2500年といわれる弁慶杉(県指定天然記念物)、松並木(同)をめぐるトレッキングは女性に人気が高い。8月には小学生を対象にキャンプを開催。アライダシ自然観察教育林の散策や川遊びを思う存分楽しんだ子どもたちの夏の思い出づくりになっている。

「エコツアーを拡大し、大勢の人に参加してもらいたい」と渡会さん、横光さんは願う。設立から3年目。手探りの運営が続く。「まちに元気を取り戻す」という夢をかなえるため、倶楽部の挑戦は始まったばかりだ。



「エコツーリズムで地域を活性化したい」と語る理事長の渡会三治さん(左)と事務局長の横光八州男さん=恵那市上矢作町、NPO法人福寿の里自然倶楽部



約10ヘクタール原生林をめぐるツアー=恵那市上矢作町

### 清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業の紹介(8)

### エコツーリズム促進事業

#### ～地域が主体となった環境保全活動の促進～

岐阜県の豊かな自然を活かしたエコツアーを実施する団体等の商業的自立を促し、県内にエコツーリズムが普及・定着を図ることを目的として、市町村、団体等を対象にエコツーリズムに係る事業を支援しています。

- 事業概要**
- ①対象事業者 市町村、団体等
  - ②対象事業 エコツーリズムを推進するための活動  
例:推進体制の整備、地域資源の調査、エコツアーの企画・ガイドの育成等
  - ③補助金の額 1団体あたり1,500千円上限  
(補助率10/10以内)

<平成24年度実績>  
団体数(地域):4団体  
(郡上市、白川町、下呂市、高山市)

<平成25年度計画>  
団体数(地域):5団体  
(山県市、白川町、恵那市、下呂市、飛騨市)



事業の詳細は、県庁自然環境保全課へお尋ねください。